



■ 保健環境研究センター2月だより ～麻しんワクチンを2回受けましたか？～



麻しんは、子どもの病気というイメージがありますが、学生や大人にも罹ります。重症化すると、肺炎、中耳炎、心筋炎、脳炎などをおこし、妊娠中に感染すると、流産や早産などを引き起こす可能性があります。

2006年、予防接種施行令が一部改正され、1歳（第1期）と小学校入学前（第2期）の2回の麻しんワクチン定期予防接種が導入されました。その後2007年に、高校生ならびに大学生を中心とした地域的大流行が発生しました。調査の結果、既接種者のなかには1回のみ接種者が含まれており、抗体価獲得が不十分であったことが要因として判明しました。このようなことから、厚生労働省は2回ワクチン接種を奨励し、2008年度から中学校1年生（第3期）と高校3年生（第4期）に相当する方を対象とする無償の定期予防接種5年間の時限措置として実施し、2回目のワクチン接種を呼びかけています。

2010～2012年度 麻しん定期予防接種対象者

第1期：生後12か月以上24か月未満の者

第2期：5歳以上7歳未満のものであって、小学校入学前の1年間

第3期：中学1年生に相当する年齢の者（年度内に13歳になる者）

第4期：高校3年生に相当する年齢の者（年度内に18歳になる者）

奈良県および全国の麻しんワクチン接種率は、表のとおりです。麻しん流行阻止に必要な接種率は95%と言われていたのですが、全ての接種対象者で達成できていないのが実情です。

麻しんが流行するのは、春から夏にかけてです。出来るだけ早めに予防接種を受けましょう。麻しんにならない、させないために、予防は大切です。

表) 2009年度麻しんワクチン接種率(%)

	第1期	第2期	第3期	第4期
奈良県	89.8	92.0	83.8	78.5
全国	93.6	92.3	85.9	77.0

国立感染症研究所感染症情報センターより



詳しくは、市町村の相談窓口で確認してください。

（保健環境研究センターウイルスチーム 記）